

LISTA DEI PARTECIPANTI エントリーリスト

Driver	Co-Driver	Car-Model	Year
1 上島 孝行 上島 美佳	BUGATTI T13 Brescia	1925 F 大阪	
2 山本 正文 布留 知美	RILEY 12/4 Special	1934 GB 滋賀	
3 若濱 真之介	PACKARD 8 Moss Special	1925 USA 千葉	
4 大森 有美子	MINI Moke	1975 GB 千葉	
5 中村 優仁 中村 隆	CITROEN 2CV	1975 F 滋賀	
6 堀池 彰 堀池 美知子	TOYOTA Publica Convertible	1968 J 静岡	
7 坂本 龍哉 藤原 心	MG TC	1948 GB 兵庫	
8 佐川 雅彦 岡本 栞里	MG TF	1954 GB 大阪	
9 福多 信一郎 吉田 美穂子	MG Midget	1964 GB 三重	
10 片山 耕一 片山 薫	TRIUMPH Spitfire 1500	1975 GB 岡山	
11 松波 正晃 太田 祐市	TRIUMPH TR 2	1955 GB 愛知	
12 平野 大偉 平野 千澄	TRIUMPH TR 3B	1961 GB 大阪	
13 島田 政一 阿久津 典子	LOTUS 7 Sr.1	1960 GB 群馬	
14 土岐 頼信 土岐 康代	LOTUS Elite	1962 GB 岐阜	
15 宮地 孝行 宮地 久美子	LOTUS Elan Sr.2	1965 GB 大阪	
16 大森 宏和 大森 由佳	LOTUS Elan Sr.2	1966 GB 大阪	
17 小橋 博 小橋 幸子	LOTUS Elan Sr.3 f.h.c	1965 GB 岡山	
18 永田 久史 永田 真知子	LOTUS Elan Sr.4 Sprint	1971 GB 大阪	
19 古場 博之 古場 順子	LOTUS Elan	1964 GB 愛知	
20 鈴木 幸典 倉知 穂波	LOTUS Europe	1970 GB 愛知	
21 國江 仙嗣 國江 紀久	TOYOTA Corolla Levin	1972 J 岐阜	
22 平岡 弘行 平岡 裕美	AUSTIN HEALEY 100/4 BN1	1954 GB 京都	
23 山本 豊 山本 素子	AUSTIN HEALEY 100/4 BN1	1954 GB 福岡	
24 橋本 善博 橋本 展幸	AUSTIN HEALEY 100M	1956 GB 京都	
25 西川 純平 高津 貴大	AUSTIN HEALEY 100/6	1957 GB 滋賀	
26 吉川 博造 吉川 由美子	AUSTIN HEALEY 100/6	1958 GB 和歌山	
27 浄土 崇 雑賀 康文	AUSTIN HEALEY	1959 GB 愛知	
28 平田 肇 石塚 友則	AUSTIN HEALEY 3000 Mk1	1959 GB 北海道	
29 丹生 司祥 丹生 朝子	AUSTIN HEALEY 3000	1960 GB 兵庫	
30 松河 陵 砂原 啓三	JAGUAR XK120 o.t.s	1951 GB 京都	
31 小池 薫 小池 正子	JAGUAR E-type Sr.1 f.h.c	1963 GB 大阪	
32 水上 隆仁 森田 作男	JAGUAR E-Type Sr.1	1966 GB 京都	
33 新谷 永 新谷 ひろみ	JAGUAR E-Type Sr.3	1973 GB 岐阜	
34 小畑 慎吾 森口 正男	MORRIS Oxford Traveller Sr.6	1962 GB 京都	
35 根本 剛雄 根本 名穂子	NISSAN Skyline 2000 GTR	1969 J 東京	

PROGRAMMA スケジュール

DAY 1	5月31日(土)
9:00	開会式 旧議場
9:30	1号車スタート
11:30	昼食@丹波運動自然公園
17:00	ゴール メルキュール京都宮津リゾート&スパ

Driver	Co-Driver	Car-Model	Year
36 森 健 山村 亮輔	CHEVROLET Corvette C2	1963 USA 東京	
37 長谷川 睦 長谷川 知子	CHEVROLET Corvette C3	1969 USA 愛知	
38 東影 弘喜 東影 直美	MERCEDES BENZ 280 SE	1969 D 兵庫	
39 湯山 和彦 湯山 富美子	MERCEDES BENZ 280 SL	1971 D 大阪	
40 木綿 紀文 木綿 佳代	PORSCHE 356 Speedstar	1955 D 和歌山	
41 柴田 俊樹 柴田 由美	PORSCHE 356 Speedster	1956 D 愛知	
42 杉本 志昭 杉本 清子	PORSCHE 356 A	1956 D 愛知	
43 福田 博道	PORSCHE 356 A	1957 D 大阪	
44 越智 忠太郎 越智 温子	PORSCHE 356 SC	1964 D 京都	
45 福田 俊夫 豊島 清	PORSCHE 911 S	1973 D 埼玉	
46 西川 光博 西川 佳代	ALPINE A110	1973 F 兵庫	
47 永井 裕隆 永井 純子	ALPINE A110	1977 F 大阪	
48 鈴木 聡 土井 一也 野沢 和枝	CITROEN DS 19	1964 F 兵庫	
49 栗山 泰明 栗山 美智子	CITROEN DS 21 Palas	1968 F 大阪	
50 大友 進 大友 夕子	LANCIA Aurelia B20S GT	1954 I 秋田	
51 吉村 一悟 吉村 薫牙	LANCIA Flaminia Convertible	1964 I 奈良	
52 小林 義昭 小林 聖子	MASERATI 3500 GT	1961 I 兵庫	
53 山田 直樹 古西 豊	ALFA ROMEO 1900C Pininfarina Coupe	1953 I 兵庫	
54 有川 裕之 魚本 賢吾	NARDI 750S	1947 I 兵庫	
55 松中 博之 松中 冬雅	SIATA Topolino Sport	1937/1947 I 兵庫	
56 黒田 隆 今中英夫	SIATA AMICA	1949 I 東京	
57 木村 隆昭 加藤 慎也	FIAT ABARTH 750 Record Monza Zagato	1959 I 静岡	
58 二木 勝昭 二木 裕子	FIAT ABARTH 850 Coupe Scorpion Allemano	1961 I 京都	
59 浄弘 晴義 浄弘 祥敬	FIAT ABARTH 850 TC	1963 I 奈良	
60 淵端 斉 淵端 弘子	FIAT 850 Racer	1970 I 大阪	
61 下村 哲生 下村 太香子	FIAT Dino Coupe 2400	1972 I 滋賀	
62 牧野 克己 牧野 薫	ALFA ROMEO Giulietta Spider	1959 I 神奈川	
63 森本 康介 稲葉 正和	ALFA ROMEO Giulietta Spider	1960 I 奈良	
64 川口 貞二 川口 大輔	ALFA ROMEO Giulietta Spider	1962 I 三重	
65 茨木 浩史 茨木 里香	ALFA ROMEO Giulia Spider	1963 I 京都	
66 永田 哲也 永田 由貴子	ALFA ROMEO Giulietta	1961 I 兵庫	
67 富田 昭夫 富田 美貴子	ALFA ROMEO Giulia 1600 GTV	1967 I 愛知	
68 福岡 和也 福岡 玲央	ALFA ROMEO 1300 Junior Zagato	1970 I 兵庫	
69 鶴田 健一 堀内 範之	VOLVO Amazon	1970 S 愛知	
70 長谷川 憲司 小野村 圭介	MAZDA MX-5 Eunos Roadster	1995 J 兵庫	

DAY 2	6月1日(日)
8:30	スタート
9:00	舞鶴赤れんがパーク
11:00	Ciao @丹波ワイン
12:00	ゴール 昼食@嵐山高雄パークウェイ

COPPA series EVENT SCHEDULE

- 4^a COPPA CENTRO** 2025年10月12-13日 @名古屋 久屋大通公園
- 1⁹a COPPA DI TOKYO** 2025年11月23日(日) @汐留イタリア街
- 4^a GIRO DI MIKAWA ENSHU** 2026年4月5日 @豊川稲荷
- 35^a COPPA DI KOUMI** 2026年4月18-19日 @八ヶ岳周辺
- 6^a COPPA DI HIMEJI** 2026年6月6-7日予定 @姫路城周辺

COPPA DI KYOTO 2025

【第11回 コッパ ティ 京都 開催概要】

名称 第11回 コッパ ティ 京都	特別協力 常照皇寺	名誉顧問 鮎子田 寛	M C 中島 秀之	公式フォトグラファー 沼田 亨 奥村 純一
期日 2025年5月31日(土)・6月1日(日)	協力 中部宮崎自動車(株)	実行委員長 岡田 邦雄	計測 HAL75	
主催 コッパ ティ 京都 実行委員会		実行委員 岡島 重雄	ウェブ製作 スペクトルデザインオフィス	
共催 京都府		清水 倫正		

協賛 | AIM/LIQUIMOLY/ジャンナッツ/開化堂/丸久小山園/京月待庵/岡重/舞扇堂/WOODY HOUSE/オート アルファ・ワン/SICX京都蒸留所/NEGRONI 株式会社マルミツチャブ保険/リアルト/CHAPAL/CAVALLERIA/ARISTOCRATICO/ジロン自動車/サンマリネーゼ/仙禽/丸菱電子/カーグラフィック/オートモビルカウンシル/ティーボ新城エンターテインメント/STUDIO21/高雄サンデーミーティング/湘南ヒストリックカークラブ/ガレリア アミカ/スクーテリア ヴェロチッタ/HAL75/Y&H

宿泊 メルキュール京都宮津リゾート&スパ 〒626-0068 京都府宮津市宇田井小学岩本58 Phone:0772-25-1800(9:00~18:00)	コッパ ティ 京都 事務局 〒602-8354 京都府京都市上京区西東町369	PROGRAM Text Kunio Okada Illustration Ysuaki Kitajima Photo Toru Numata / J Okumura Layout Hiromi Nomura
--	--	--





コッパディ京都の起源は、1990年に開催されたジューロディ京都(京都一周の意味)だ。いにしへのルマン24時間レースやミッレ・ミリアなどに恋い憧れた熱心な愛好家によって、まずは仲間たちで走りたいという願望の実現から始まった。その気持ちはさらに昂まり、翌1991年には長野の八ヶ岳に舞台を移して、コッパディ 小海に発展した。高原の清々しい風光のなかを駆け巡るラリーは人気を呼び、自ずと回を重ねて継続していった。

やがて、再び、京都でもヒストリックカー・ラリーを復活させたいという機運が高まり、2008年から始まったのが、コッパディ 京都だ。第1回目と第2回目は南禅寺からスタート。第3回目が東寺、第4回目が下鴨神社からのスタートだった。

年を重ねることに発展していき、第5回目には、京都国立博物館の特別企画として、3日間の大規模な開催となった。高台寺での朝の動行から始まり、普段は通行できない円山公園を特別な許可を受け経由して、京都市内を走り、京都国立博物館にゴールして、夕刻まで参加車両の展示がなされた。



第5回目を一つの頂点として第1期は終了した。それから4年間の充電期間を経て、2016年から京都府との共催となり、新たなコンセプトを掲げて再開された。京都府の多彩な魅力に深く触れていく『海の京都』『森の京都』『お茶の京都』『竹の京都』をテーマとしたルートを開発し、京都ならではのツーリングを楽しんでいただけるよう心がけている。

さてコッパディ 小海は、今年も4月に開催され、信州の春を心ゆくまで楽しんだ。現在では、いくつかの地域で開催されているコッパディシリーズの源流であり、そのアマチュアによるアマチュアのためのヒストリックカーラリーという原初のスピリッツを、我々は次の世代にも伝えていく所存である。ここでいうアマチュアとは、商業的興行ではなく、ジェントルマン・ドライバーの、ただ情熱だけによって支えられた無償の行為という意味だ。

コッパディ 小海のスピリッツを受け継いだヒストリックカーラリーは、コッパディ 東京やコッパディ 姫路のようにいくつかあるが、コッパディ

若いスタッフが自主的に企画・運営するジューロ・ディ三河〜遠州も、今年3月で4回目の開催となった。



4^a Giro di Mikawa-Enshu 2025



ガ・フローリオに参加し、イタリアなどでの友好も深めてきた。

また、近年では、海外からの参加者の企画/運営にも携わり、2017年にはサムライ・チャレンジ(九州〜北海道)、2024年にはベントレー・ライジング・サン・ラリー(九州〜横浜)のルート開発から運営まで携わった。



今年5月に神戸から北海道までを駆け巡る Destination Rally Japan Classic では、神戸から六甲、大阪の能勢を走り、京都で亀岡トライアルランドに表敬訪問の後、美山から鞍馬を駆け巡って、三十三間堂にゴールした。翌日は、嵐山高雄パークウェイを駆け巡り、TSMIに表敬訪問して、常照皇寺から日吉ダムを走った。三日目は比叡山を超えて、琵琶湖に至り、奈良に向かった。いずれも、これまでコッパディ京都で使ってきたルートを応用したのだが、世界10か国からの参加者は大いに京都のツーリングを楽しんだ。



① 京都府庁 ② 旧本館

京都府庁は、慶応4(1868)年6月19日に開設。明治2(1869)年に軍務官役所の跡地であった現在地に移転した。さらに歴史を遡れば、幕末には京都守護職・松平容保の上屋敷が置かれていた土地である。開会式の会場となる旧議場がある旧本館は明治37(1904)年12月竣工のレンガ造りの建物で、昭和46(1971)年まで京都府庁の本館として、また、現在も執務室や会議室として使用されている。創建時の姿をとどめながらも現役の官公庁建物としては日本最古のもので、平成16(2004)年に国の重要文化財に指定された。ルネサンス様式の外観は、正面の一段高くなった屋根を中心にして、左右両ウィング対称に張り出した形となっている。和風の優れた技術が巧みに取り入れられた内部意匠に工芸品の趣が感じられる。辰野金吾の教えを受けた松室重光が設計に関与した。松室は中京区に残る京都ハリストス正教会聖堂も手がけた。松室は松尾神社、月読神社の神官を務めた家系の出身で、社寺の修復・保存にも功績がある。

③ 嵐山-高雄パークウェイ

日本のモーターリングの勃興期である1965年に開設。嵐山と高雄を結び、全長10.7kmの変化に富むワインディングロードで、昔も今も、走り屋たちのメッカである。しかも、季節ごとに桜や新緑や早月や紅葉も楽しめる豊かな山であり、4箇所の展望台からは、それぞれ京都盆地を望むこともできるし、保津峡下りの船やトロッコ列車も垣間見ることができる。

④ 常照皇寺

光厳天皇は歴史のせめぎ合いに翻弄された悲劇の天皇だった。1331年に19歳で即位するも、数年後には後醍醐の策謀でその座を追われた。しかし後醍醐の失望により再び天皇となるなど、その地位の変動は激しい。やがて光厳が弟・光明を天皇として北朝を開くと、京の都を壁ち吉野に逃れた後醍醐は南朝をたてたので、南北王朝の端緒となった。院政を敷いた光厳は室町幕府と強調して徳政を行い、幕府と朝廷の安定を図った。この頃、天龍寺の創建に与した。その後も有為転変の激動のなか、1352年に落飾(出家)して法皇となり、禅宗に帰依した。1363年に丹波国に常照皇寺を開山し隠棲した。常照寺は、庭も光厳自らが手をかけ、濁世から身を離し、静謐な晩年の数年を過ごした隠棲の寺である。

④ 常照皇寺

光厳天皇は歴史のせめぎ合いに翻弄された悲劇の天皇だった。1331年に19歳で即位するも、数年後には後醍醐の策謀でその座を追われた。しかし後醍醐の失望により再び天皇となるなど、その地位の変動は激しい。やがて光厳が弟・光明を天皇として北朝を開くと、京の都を壁ち吉野に逃れた後醍醐は南朝をたてたので、南北王朝の端緒となった。院政を敷いた光厳は室町幕府と強調して徳政を行い、幕府と朝廷の安定を図った。この頃、天龍寺の創建に与した。その後も有為転変の激動のなか、1352年に落飾(出家)して法皇となり、禅宗に帰依した。1363年に丹波国に常照皇寺を開山し隠棲した。常照寺は、庭も光厳自らが手をかけ、濁世から身を離し、静謐な晩年の数年を過ごした隠棲の寺である。

③ 嵐山-高雄パークウェイ

日本のモーターリングの勃興期である1965年に開設。嵐山と高雄を結び、全長10.7kmの変化に富むワインディングロードで、昔も今も、走り屋たちのメッカである。しかも、季節ごとに桜や新緑や早月や紅葉も楽しめる豊かな山であり、4箇所の展望台からは、それぞれ京都盆地を望むこともできるし、保津峡下りの船やトロッコ列車も垣間見ることができる。

⑤ 丹波自然運動公園

昭和45(1970)年に、京都府政100周年を記念する事業として開園した。高原の起伏のあるロケーションに、陸上競技場、体育館、テニスコート、プールなどの運動およびレクリエーション施設が用意されている。府内最大級の木造公共施設「京都トレーニングセンター」では、トレーニングルームを始め、スポーツ医・科学に関する専門的なサポートが受けられる。また300人収容の宿泊施設ではスポーツ合宿にも対応している。芝生広場のようなフリースペースや、自然林ゾーンが広がっており、野鳥が囀る中でスポーツやレクリエーションを楽しめる。

⑥ 嵯高原牧場

標高400mの高原で、古代には狩猟民族の集落があったという。明治の頃には但馬から日本固有の牛を移し放牧されていたという。昭和の頃に新たな開拓が試みられたが、蹶跌したという。そのような歴史的記憶の残る地に、京都府はあらためて嵯高原牧場の開拓に乗り出した。昭和50年11月に起工し、昭和54年6月に開場した。標高400mに広がる88ヘクタールの起伏のある高原では、牛や羊が放牧されている。近隣では、猪や野猿も見かけられる。

⑦ 丹後半島

日本海に突き出たこの半島には、海からやってきた『まろうど』を迎える徐福伝説、浦島伝説、羽衣伝説などが伝えられる。また、実際に、そのような『まろうど』は多かったのだろう。古代遺跡や古墳も多く、丹後王国の存在も伝えられる。また、多くの貴人たちが墮ち逃れてきた地でもある。土地としては最果てだが、海に向って開かれている。

⑨ 舞鶴赤れんが倉庫

明治34(1901)年に舞鶴に日本海の鎮守府として海軍の施設が作られた。やがて海軍工廠も置かれると、海軍の艦艇開発の先導的な地位となった。最新の艦艇が舞鶴で製造されると、そこで培った技術を他の造船所に伝えて建造する方策が取られた。またエンジンの開発と試験も舞鶴で行われた。軍部で働いていた技術者が戦後は民間企業の技術者となったので、日本の自動車産業は急速な発展遂げた、という説があるが、例えば、トヨタ・パブリカの開発に最初に取り掛かったのは舞鶴に潜水艦の設計に携わっていた数田東三であり、纏め上げたのは立川飛行機出身の長谷川龍雄だった。舞鶴赤れんが倉庫は、海軍の遺構である。

⑧ 由良川

川は蛇行しながら様々な土地を通っていく。由良川は京都、滋賀、福井の府県境にある三国岳を源にして西に流れ、福知山に至る。福知山に織田信長の命で城を造った明智光秀は氾濫する由良川の治水工事にあたった。福知山から由良川は北に向きを変え、日本海側に緩やかな大河となって流れ行く。その西側が宮津市となり、東側が舞鶴市となる。その河口付近には山椒太夫の屋敷があったと伝えられる。

